

議 事 録

会議の名称		令和8年度 第1回 白鷹町総合教育会議			
開催日時		令和8年8月24日(月)	開会	午後	3時 00分
			閉会	午後	4時 21分
開催場所		白鷹町中央公民館2階 大会議室			
出席者	構成員	白鷹町長 田宮 修 【白鷹町教育委員会】 教 育 長 迎 田 浩 昭 教育長職務代理 齋 藤 芳 昭 委 員 舩 山 泉 委 員 大久保 直 美 委 員 原 田 昌 典			
	事務局 (教育委員会)	教 育 次 長 川 部 茂 樹 学校教育主幹 新 野 文 俊 教育次長補佐 木 口 祐 里 学校教育係長 中 川 拓 也 生涯学習・文化振興係長 橋 本 こずえ 指 導 主 事 鈴 木 美 志			
議事録署名委員		迎田 浩昭			
次 第		1. 開会 2. あいさつ 3. 協議・調整事項 (1)児童生徒数減少に伴う今後の学校の在り方について (2)白鷹町立小中学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について (3)その他 4. 閉会			

発言者	発言内容・決定事項
	<p>※読みやすさ等のため、文意を損なわない範囲で、重複表現、言い回しなどを整理しています。</p>
川部教育次長	1.開会
田宮町長 迎田教育長	2.あいさつ
川部教育次長	3.協議・調整事項に移ります。座長は、白鷹町総合教育会議運営要綱に基づき、田宮町長にお願いいたします。
田宮町長	議事録署名委員を指名します。 迎田教育長お願いします。
新野学校教育主幹	児童生徒数減少に伴う今後の学校の在り方について、事務局の説明を求めます。 〈資料「児童生徒数減少に伴う今後の学校の在り方について」を説明〉
田宮町長	説明が終わりました。皆さんにご質問やご意見をいただきたいと思います。項目ごとに進めさせていただきます。まずは 資料項目 1 『児童生徒シミュレーションについて』をお願いします。
大久保委員	令和10年に複式になったときに教員が一人余るのか。
新野学校教育主幹	学級数減に伴い配置教員数も減る。
大久保委員	複式を予定していて、転入等により子どもの数が増えたらどうなるのか。
新野学校教育主幹	年度の途中では変わらないが、翌年は単式にできる。
田宮町長	令和15年度以降の推計は何をもとにしているのか。
中川係長	国立社会保障・人口問題研究所の推計を基にシミュレーションしている。

田宮町長	資料項目 2 『保護者・地域の声について』 お願いします。
船山委員	PTA 連絡協議会総会での声は概ねこの内容か。どの程度のニュアンスとして受け取ればいいか。
新野学校教育主幹	総会で方向性を決めるわけではないがこういう話があった。
田宮町長	町議会の一般質問でもそのような声が出ている。 議論はしっかりしていきたい。
田宮町長	資料項目 3 『最適な学習環境・規模等について』 お願いします。
齋藤職務代理	この配置計画は平成23年3月に出された考え方を見直しているか、それともベースにしているものか。
迎田教育長	平成23年3月に出された見直し計画は、当時の国の施策や町の状況が反映されている。これに基づき小中学校の統合が行われた。 しかし現在の状況は当時とは大きく異なることから、この計画をもとにしていくのか、見直しが必要なのか、検討していくもの。
田宮町長	資料項目 4 『白鷹町の今後の学校の在り方について』 お願いします。
田宮町長	小規模校の定義は何か。
新野学校教育主幹	12学級以下の学校。
齋藤職務代理	国が適正と考える12から18学級は本町には当てはまらない、複式学級が出るところで今後についての検討段階に入る。
原田委員	白鷹町は小規模校しかない。複式学級のメリット、デメリットはあるか。
迎田教育長	複式学級という想定はなく、小規模校というとらえ方。
船山委員	子どもがよりよい環境で学べることが大事。

田宮町長	資料項目5 『今後の学校の在り方を検討する進め方について』 お願いします。
船山委員	検討組織としては適当だが学校のかかわりはどうなのか。
新野学校教育主幹	自分の学校がかかわる統合について意見するのが校長の立場では難しいことから入っていない。
船山委員	これまでの統合はどうだったのか。
新野学校教育主幹	前回は入っている。
迎田教育長	前回は統合するためにどうするかという会議だったが、今回は統合をどうするかという内容のため、前回とは異なると考える。
齋藤職務代理	スケジュールでは3月には報告とあるが、方向性が見えてくるということかと思う。この会議の回数は適切かどうか検討が必要ではないか。
新野学校教育主幹	保護者、未就学児保護者、地域の方、と声を聞く。
迎田教育長	今年度中に、統合が必要かどうか、学習環境はどうか、ご意見を踏まえて検討。
大久保委員	検討委員会のメンバーは決まっているのか。 保護者アンケートがあり、地域の声を聴いていくが、その内容は公表されるか。
新野学校教育主幹	メンバーまだ決定はしていない、内容は経過を都度お知らせしたい。
原田委員	複式学級とは何か、保護者への説明はどうなるのか。学力低下が気になる。どう進めるのか。
新野学校教育主幹	説明は大切、複式学級といってもいろいろなパターンがある。
船山委員	複式学級の加配について教えてほしい。
迎田教育長	小規模加配はあるが、加配があるところばかりではない。
田宮町長	全体を通して何かありませんか。
大久保委員	様々な声が届いており、地域での活動を減らさないでほしい。地域でも子供の姿が見えればいい。

田宮町長	今後、保護者や地域の方や事務局と議論を深めていくもの。子どもにとってどういう学校、環境を作るか、複式学級が出るから統合ではなく、ゴールを決めてやるのではなく幅広い意見を聞きながら進める。
田宮町長	続いて白鷹町立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について、を議題といたします。事務局の説明を求めます。
新野学校教育主幹	<資料「白鷹町立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について」を説明>
田宮町長	説明が終わりました。これから皆さんに質問・ご意見をいただきたいと思います。
田宮町長	資料項目 1 『本町教職員の時間外在校等時間の現状について』お願いします。
原田委員	時間外が多い、以前と比較して今の状況はどうなのか。
新野学校教育主幹	働き方改革が始まる前よりは短くなっている。
鈴木指導主事	休日も部活動をしていた時代よりは早く帰ろうという意識があり帰りやすい。
大久保委員	出退勤システムでチェックしてからも働いていないか。
新野学校教育主幹	システムチェックしたら帰るようにしている。 パソコンも持ち帰れない。
齋藤職務代理	時間外の管理、集計についてどうなっているのか。
新野学校教育主幹	システムを使って学校ごとに一人一人の時間外の集計をしている。
齋藤職務代理	働き方も夏の暑さの影響を受けて上期に過密なスケジュールになっているのではないか。
新野学校教育主幹	確かに以前より行事は早いですが試行錯誤中。
船山委員	計画期間中に目標に近づけるためには、上期、下期の総括ではなく、学校ごとに対応を検討できないか。

新野学校教育主幹	上期、下期は県から示されている集計の仕方、どのようにでも学校ごと考えられる。
田宮町長	資料項目 2 『白鷹町立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について』をお願いします。
齋藤職務代理	<p>国が示すもの従い目標を目指していく、ワークライフバランスから年休も長期休暇等で積極的に取得してもらおう。</p> <p>働き甲斐を実感できる。それぞれに違って測れないもの、具体的に上げて分析することが必要。</p>
新野学校教育主幹	<p>学校の閉庁期間に休暇取得してもらっている。</p> <p>働き甲斐についてはご意見を参考にしていく。</p>
迎田教育長	個々のストレスチェック、教員評価等をうまく利用していく。
田宮町長	資料項目 3 『今後のフォローアップについて』をお願いします。
大久保委員	コミセンの周知と協力について、どのようなことを期待するのか。
新野学校教育主幹	学校運営協議会委員でもあるため、学校の教育活動に対して協力いただけるようお願いしていく。
齋藤職務代理	カスハラ対応相談対応は積極的にお願いしたい。
田宮町長	組織として毅然とした対応が必要と考える。
田宮町長	今年度からの計画、教員の健康でなければ質の高い教育を目指すことはできない。働き方改革は時間削減だけでなく、質の維持向上を目指していく。
川部次長	4. 閉会